

かがやく

— あなたも、わたしも —



創刊

特集 1 20才にインタビュー
「ジェンダー」という言葉をご存じですか? P2-3

特集 2 対談 - 男女共同参画社会をめざして - P4-6

「ジェンダー」という言葉をご存じですか？

「ジェンダー」とは、生まれつきの肉体的な性差ではなく、生まれてから後、社会的・文化的につくられる性差のことです。
成人式の前日、準備を終えた「成人式企画運営会議」の方々に、インタビューしました。

男がトクか？ 女がトクか？

ジェンダーという言葉を知っていますか？
半数の方は聞いて知っているとお答えですが。

中学校の先生から聞いた。
大学の講座で学んだ。

社会生活上男がトクだというご意見があるようですが、
どんなところで感じますか？

「女性だからいけない」という言葉が聞かれる。
企業から結婚出産、即、退職と言われることがあるそうだ。
仕事は男、家庭は女という見方も、役割分担だと思う。
相撲の女性忌避は伝統であって不平等とは思わない。ただ、
就職差別は別問題。性の違いを意識させられる。
男性がいけないということより、女性が参加できないことの方が多い。
男はずるいのかな？ 特に育児は「女性が肝心」と言ってまかせている。
伝統的な男尊女卑の流れが各所に残るのでは？ その流れを変えたいと言っている国会議員も男が多い。本当に変わるのかなあ？



仕事について

事前アンケートによると多くの方が仕事に就きたいと考えていらっしゃいますね。いつまで続けたいとお考えですか？

定年まで働きたいが、実際には厳しいかも？ 配偶者次第ということも。

私は仕事を続けたい。

子供が生まれるまでは続けたい。

子供が幼いときは女性である私がそばにいてあげたい。

男性も女性も希望すれば仕事をもつのが当然と考えています。
ただ、出産の時期を経て女性が働き続けることは難しい、
育児を分担するのは女性であるのだということも感じています。



我孫子市の成人式は、成人を迎える若者たち自身がプロデュースしています。

男女混合名簿*についてどうお考えですか？

目くじらを立てるほどのことではないと思う。子供を産む性、
そうでない性という性差は確かにある。

男女別名簿の順序を逆にしたら、こんどは男性側から文句が出るかな？

自分のところは混合名簿で、それが当たり前だと思っていた。

こだわりすぎなのでは？ 気にする人は気になることでしょうけど、
そうでない人は行き過ぎではないかと感じると思います。

意識の方が大事。といっても、男女別名簿を当然としていたら差別の先入観ができてしまうかも？

男性の性差を認めつつも、性別による差別の存在も感じているようです。

一方、意識の伴わない制度変更や取り組みに疑問を感じるとコメントしています。



結婚・家庭について

家事、育児とも女性が分担する割合が多めですが？

今は一人暮らしだから、自分でしています。

私は栄養学を学んでいるので、家事は自分がたけていると思う。
配偶者は定年まで働くでしょうから、そちらを頑張ってほしい。

特に育児については父親としてできることは母親のバックアップだと思う。
結果的にそうなるのでは？

男性の育児休暇のような制度が整備されたら、同じくらい分担できると思いますか？

パートナーによるのでは？ 男が育児というのは今の自分には想像しにくい。

夫婦ともに職業上の分担が同じくらいだったら？

結局夫の家事能力による。むろんでできる人なら育児の経験は有意義だと思う。

今の社会では、男性がイニシアチブをとって育児をするのは想像しにくいという意見がありました。



成人式企画運営会議のみなさんには、お忙しい中インタビューに応じていただきました。
率直なご意見をありがとうございました。これからの人生を応援しています。

編集者たちが想定していない思いがけない意見もありました。これから成人として社会へ踏み出す彼らも、既に家庭や学校、
社会生活の中で、男女の役割意識が形成されていると感じます。

古い世代に比較して、男女が同様に職を持つこと、家事を分担することに抵抗がないながらも、男女特有の役割分担の存在を感じているように見受けられます。また、ジェンダー教育や制度の整備に意識が追いついていないことも指摘されました。

女性の社会進出が進んできていますが、男女の分担意識も変わっていくのでしょうか。みなさんは、どうお感じでしょうか？

* 混合名簿 : 学校等で使われる名簿は当然のように男女別に作成され、ほとんどの場合男性が先に配置されています。それに対し、例えば生年月日順に氏名を配置し男女を区別していない名簿。



● 対談 男女共同参画社会をめざして

発信しよう、あびこから！

あなたが かがやく 社会も かがやく

創刊号の発刊に寄せて、我孫子市男女共同参画社会づくり推進懇談会の会長 北村浩一郎さん、副会長 表てる子さん、

福嶋浩彦市長が、男女共同参画社会のイメージや理想の社会について、おおいに語りあいました。



お忙しいところをありがとうございます。
今日は皆さんに、それぞれの立場や経験を率直にお話し
いただくことで、男女共同参画社会のイメージが浮き彫
りになればと思っています。

無意識の差別が根強いですね

北村 男女共同参画社会については、まだ緒についたばかりという感じです。

私の出身の佐賀県は、私の子どものころはまだかなり封建的で、お風呂など、たとえ相手が母親であっても、女の後に入るものではないと言われて育ってきました。

こういう極端な経験でなくても、批判力、判断力のないときのそういう^{しつけ}躰が、思わず知らずのうちに思考の習慣になっていき、無意識のうちに、いわゆるジェンダーという社会的・文化的に培われた男女の差別意識が、根強く深く入ってくる。それを取り除くためにどうするかが、これからの課題になると思いますね。

私自身は、家庭・学校はもちろん地域社会や職場で、広い意味での教育を、いろいろな角度から徹底的にやっていると、本当の意味での男女共同参画社会にはならないという意識を持っています。

女性は経済的自立を

表 私は女性という立場で言わせていただくと、やはり経済的自立をしないと、どうしても精神的自立は難しいというのが実感ですね。そこを、これからぜひ女性の側で頑張してほしいと思います。

男女共同参画はジェンダー・フリーにつきます。2世紀は、男と女が個を確立して、その上で共生する社会だと位置づけたい。そのためには法制度は個々人のライフスタイルに対して中立であってほしいし、率先して、世帯単位を個人単位に変える必要がありますね。

一人ひとりの多様性を認めましょう

福嶋 私自身のことになりませんが、私は鳥取県出身で、両親は共に教師でした。母のほうがかき地の学校、父が市内の学校勤務ばかりだったので、父が私の面倒もみて、家事もやっていたんです。私は小さいときからそれを見て育って

ますから、あたりまえだと思ってきました。ですからそういう意味でのジェンダーというのは持たずに育ってこれたかなと思ってるんですね。

中学校のとき、女性が働くことをどう思うかという授業がありました。そのとき男子生徒も、女性が働くのはいいと言ったんですよ。けれども家事をちゃんとしてくれるならと、ハンで押したように付け加えた。みんなはそう思ってるのかとショックを受けたのを、いまだに覚えています。

我孫子市で中学校給食を実施したとき、私は選択制がいいと思ったんです。ところがみんなあまり賛成しない。愛情弁当がいいと言う人は、自分の子どもだけじゃなくて、ほかのお母さんにも弁当を作ってほしい。給食がいいと言う人は、みんなが給食を食べないといけないんですね。お互いの多様性を認めていくという文化が日本にはないようですね。1人ひとりの多様性を認め、尊重し合わない、本当の男女共同参画社会にはならないと思います。

こういう生き方が正しいと最初に設定して、その生き方に沿った人はいい人、ずれたやつは間違っただけの人とレッテルを貼ってしまう。男女平等といっても、それでは本当に個人がのびのび生きられる社会ではないと思いますね。

北村 そうですね。近代になってから、そういう画一化が徹底した感じがありますね。多様性、それぞれが持っている個性とか適性とか能力を、どうやって自己実現していく



北村 浩一郎さん(川村学園女子大学教授)

かということが、これから非常に大切になると思います。男性・女性とは別に、それぞれの持っている個性や適性を社会の中に活かしていくことが大事ですね。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★



制度改革が先か、意識改革が先か

福嶋 民法上は婿とか嫁とかいうのはないわけですが、若い人の中でも、まだまだそういう意識が変わらないという気がしますね。

表 「内容は形式を規制し、形式は内容を規制する」と言いますが、形式というのは法制度で、内容というのは意識だと思います。その意識改革と制度改革は、最終的には相まっていかないと、なかなか進まないですね。

夫婦別姓の問題ですが、岩手県のある町議会で、「夫婦同姓制度の堅持を求める意見書」を採択、時の首相らに送付した。別姓になったら家族がバラバラになってしまうというわけです。一方、親世帯と同居する女性のなかには、別姓に賛成する人もいました。その人たちは、「うちの嫁」と言われたくない、別姓なら、少なくとも「うちの嫁」とは言われまいだろうと考えたわけです。

これに象徴されているように、制度が変わることによって意識が変わっていくということが重要だと思います。



表 てる子さん(弁護士)

そういう意味で、国や地方自治体が果たす役割はとても大きいですね。できることとできないことはありますが、市長さんはぜひ、積極的に進めていただきたいと思っていますね。

福嶋 私もまったく同感で、行政として市長として、そうやっていきたいと思っています。

市が率先してプランの実行を！

福嶋 「我孫子市男女共同参画プラン」の成果は全体としてはまだまだですが、まず市役所内部で、きちんと模範を示すように実行したいと思っています。例えば審議会の女性委員の比率は35%が目標ですが、現在30%に達しました。新規に設置する審議会は40%以上という基準を作っていますので、なるべく早く目標を達成し、さらに数値を上げていきたいと思っています。今のところ、千葉県では我孫子市が2位です。

管理職の登用では、かつて管理職の前の「主査」になる時点で男女に年齢差があったり、上級職員を男性しか募集

しなかったという時代があった。そういう時代のツケで女性自体がいなかったり、最初の出発で遅れているというのがある。女性管理職を増やしていくのは少し時間がかかりますが、今は積極的にやっています。今年度、最年少で主査に上がったのは女性ですよ。

女性消防士・男女混合名簿

福嶋 消防士も去年初めて女性を採用し、今年の4月にはさらに2人採用する予定です。他市では、予防や救急業務に配置されるのが普通ですが、我孫子市では消防車に乗ってもらっています。そういうことも、意識を変えていくということだと思うんです。

北村 そう、目に見える形でね。男女混合名簿の採用は、徹底したんでしょうか。

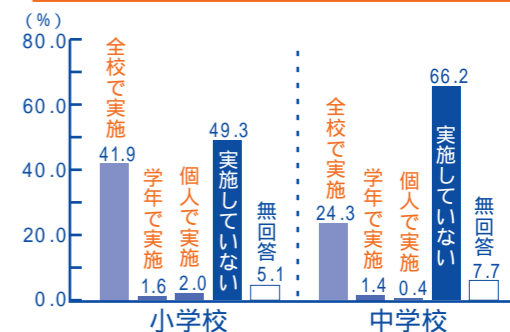
福嶋 完全ではありませんが、出席簿は市内小・中学校19校中18校です。この混合名簿の導入は、県内でも先進市ですね。

中学校の卒業証書授与式では、制服を着ているせいもあるんですけど、堅い雰囲気を感じていたのですが、男女がばらばらに座っただけで、ずいぶん雰囲気がやわらかくなったという気がしました。

表 そんなに違った印象でしたか。

福嶋 詰め襟だけが半分にかたまっていると、それだけで堅い雰囲気になるのかもしれない。「へえ、雰囲気こんなに変わるものなんだ」と思いました。ずっと男女別々だったのが一緒に入ってきたので、親たちがいちばん驚いたようですね。

男女混合名簿(出席簿)の全国実施率(1997年)



「女性のデータブック」(株)有斐閣より



北村 市長の言われるとおり、そういう目に見える形でどんどんやっていくことや、意識がそれに伴ってどう変わっていくかが大事なですね。

女子学生自身の就職意識は？

北村さん、大学ではいかがですか？

北村 私の大学では、管理職は前からの流れがありまして、部長や課長は男性が多い。教員のほうでは学科長に女性もかなりおりますが、まだ男性のほうが多いですね。

川村学園が女子大だからという理由ではなく、全学生に必修科目として、建学の精神に則したジェンダー研究や女性学、男女共同参画社会等について履修するという体制を整えているところです。人間としての自覚や、自己探求をすることが必要と考えています。

講義の中でも、女性学や女性史を数年前からやっており、いわゆる男女共同参画社会を実現するにはどうしたらいいかということを考えています。

就職についてうちの大学では、親にも女子学生自身の中にも、女性だから、いいところがあれば就職するという感じがあるんですね。

表 今はフリーターなど、男女ともさまざまという感がありますね。

福嶋 今は女性も男性も、しっかりした若者と無茶苦茶な若者の両極端に分かれているかもしれません。これも決めつけると問題ですが、市役所の採用試験の面接でも、むしろ女性のほうが個性があるような気がしますよね。男性のほうはわりと判で押したような回答が多い。

自分の頭で考え、自分で決定する



福嶋 浩彦 市長

福嶋 子どもたちが自分の頭で考えて、自分で選択をしていく機会が学校では少ないですね。

松戸市に学校給食の選択制の話聞きにいったときに、子どもたちが学校の中で自分の好みで選択をする唯一の機会かもしれないという話が出まして、なるほどと思いました。

北村 日本の場合、子どものころから、学校や家庭の中ですでに指示をされている。大学でも社会でも指示されてますね。ちょうど自我が目覚めてくるころに、指示されてすんなりいっていたことができなくなってくると、いわゆる不登校とか摂食障害とか、不適応が起こってくる。だから



非指示的なカウンセリングで、その学生に自我が目覚めて、自分の考えや感情が出てくるのを待つようにするのが大事だと思います。あまりにも指示することが多すぎるような気がしますね。

自分も他人も尊重する社会を

福嶋 繰り返しになりますが、「男女平等は正しい、だから男女平等」というのではなくて、本当に自分のやりたいことがあって、他人のやりたいことも尊重して、その結果、男女の関係においては共同参画になる。そうでないとい社会にはならない。

北村 そのために厳しい自己反省をする。自己否定をして、さらに自覚して自己肯定をする。こうあるべきだという自覚を持たないと、男女共同参画社会はできてこないと思います。

表 制度ができたからそれに乗ってしまうというのではなくてね。それはもたれ合いですものね。

北村 だから少し時間がかかる。自分でものを考えて、自己批判・自己反省で、初めてほんとうの男女共同参画社会ができるんですね。

表 ものを考えられる人ね。

北村 ただ、今は非常に便利で物質的には恵まれているわけですけど、精神的には満たされていないので、ほんとうの生きがいや心の充実感を求める学生が、非常に増えてきていますね。

福嶋 これは教えてわかるのではなくて、われわれ一人ひとりが実際に個性的に生きて、「あの人はすごく楽しそう、あの人がみたいに生きたいな」と思われて、はじめて共感が生まれる。

表 本当にめざすモデルがないんですよ。でも遅ればせながら、みんなで心がけていきたいですね。

福嶋 我孫子からそういう輪が広がって……。

北村 そうありがたいですね。

福嶋 子育ての支援や介護の充実はもちろんきちんとやっていきます。女性の負担を社会化して、男性はそのままでもいいというのは困りますが、男女共同参画を前提としながら社会的に支援をしていく、社会化をしていくということを、今まで以上に一生懸命やっていきたいと思っています。

長い時間、ありがとうございました。

男女共同参画社会基本法とは

平成11年6月23日男女共同参画基本法が公布、施行されました。

男女共同参画基本法とは、どのような内容なのでしょう。

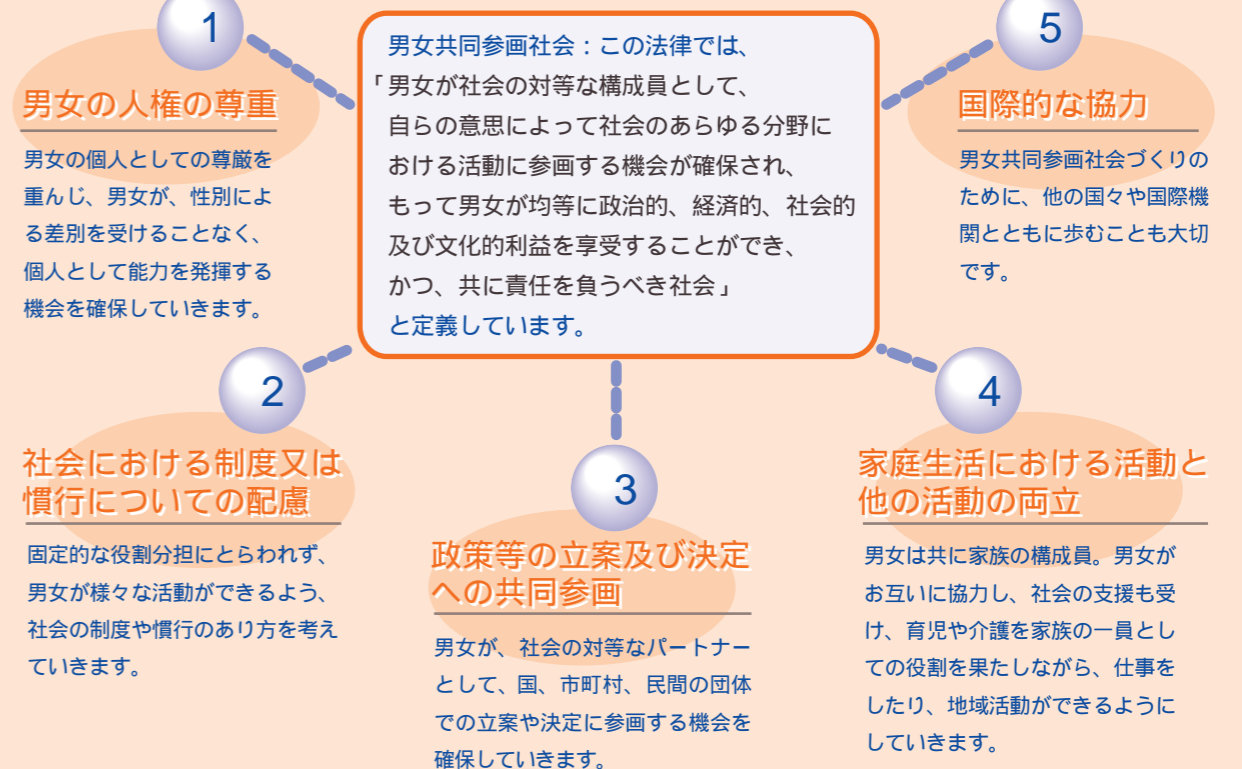
なぜ必要？ 男女共同参画社会基本法・・・

憲法には、個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取り組みが行われてきました。しかし、国や地方自治体、民間の団体などの大事な意思決定の場に女性が少なかったり、男女間の不平等を感じたりすることもまだまだ多いようです。

また、少子高齢化など私たちの生活をめぐる状況が変化していく中で、男女が「男は仕事、女は家庭」といったような性別による固定的な役割分担にとらわれず、職場、学校、地域、家庭でそれぞれの個性と能力を發揮できるような社会づくりが必要となっています。

男女共同参画社会基本法は、こうした新しい社会をつくっていくため制定されました。そして、国や県、市町村と国民それぞれが果たさなくてはならない役割を定めています。

【基本理念】 国、県や市町村、そしてわたしたち一人ひとりが男女共同参画社会をつくっていくための5本の柱



【取り組み】 男女共同参画社会をつくっていくため、国・地方公共団体・国民が果たさなくてはならない役割を定めています。

国は？ 基本理念に基づき、施策を総合的に策定・実施します。積極的改善措置 [*] を含む取り組みや、PR 苦情への対応の仕組みづくり、団体への支援を行います。	県や市町村は？ 国に準じた施策や、区域の特性に応じた施策を策定・実施していきます。	そして私たちは？ 学校・地域・家庭等のあらゆる分野で男女共同参画社会を形成するよう努めていきましょう。
--	---	---

^{*}積極的改善措置：英語で言えばポジティブ・アクション。男女間の格差を改善するため必要な範囲において、男女のいずれか一方に対し、当該機会を積極的に提供することをいいます。

市の 取り組みから

学童保育指導員研修

ジェンダーに 気づこう!!

市役所子育て支援課では、より良い保育を目指して、学童保育指導員を対象に研修を行っています。

2月2日(木)川村学園女子大学の^{うちみさき}内海崎貴子さんを講師に迎えて行われた「学童保育におけるジェンダー・フリー」研修を紹介します。

研修では、「学童保育指導員がジェンダーに気づく、(子どもに戻って)体験する。」ことを通して、ジェンダー・フリー保育を考えました。

まずジャンケンでリボンのあるグループとないグループに分かれて、ゲームを行いました。その過程で、ジェンダーにとらわれた保育者の言葉によって、子どもたちがどんな気持ちになるかを実感。そしてジェンダーは、家庭や学校、地域社会などで保育者・親の言葉かけ、テレビ、絵本、おもちゃ等を通して、子供たちの中につくられることを学びました。

この研修で、学童保育指導員が、ジェンダー意識に敏感な保育をすることの重要性を認識しました。



小学生の子どもにもどって

クラス委員を決めました。

「リボンのある人たちは積極的で、力が強くて、何でもできるから委員長と体育委員。」
「リボンのない人たちはよく気がつくけど、内気で決断が遅いから、副委員長と保健委員。」

♡ 初めから決めつけないで!



折り紙をつくってみたら 報酬の差別。

「リボンのある人が作ったものは
2000円。」
「リボンのない人が作ったものは
1000円。」

♡ 何で差があるの?
私たちも上手なのに!

ビデオ紹介コーナー

■ドメスティックバイオレンスⅠ

「**どうして私を殴るのですか～**
妻や恋人への暴力は犯罪です」

■ドメスティックバイオレンスⅡ

「**家庭内における女性と子どもへの影響**」

(財)女性のためのアジア平和国民基金が制作しました。

夫や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)や子どもへの虐待が大きな社会問題となっています。ドメスティック・バイオレンスは犯罪であることや、子どもへの虐待との関連性をわかりやすく解説。医療関係者、相談員などの意見をまじえ構成されています。

市役所男女共同参画担当で貸し出しています。

編集後記

新しい革袋に新しい酒を。若者たちがどんな酒を造るかが楽しみです。革袋が『かがやく』ように。(柳川)

37年前、市川房枝氏に会った。今、見事な生き方をしている多くの女性が私の前にいる。(芹沢)

共稼ぎ+保育園児2人の4人家族です。わが家の男女共同参画社会推進マシーンは『食器洗い乾燥機』です。(父 鈴木)
個を確立し、心の充足を大切にしたい。人は生かされているのですから。(さとう)

ある中学校の生徒会長選挙でのこと。男女2人の立候補者に対して、『会長はやっぱり男の方がいいよ!』という生徒の意見。私は思わず『うーん』。皆さんはどう思いますか? (ミーちゃん)

「“ジェンダー”“男女共同参画社会”ってなに? 私たちにどんな関係や影響があるの?」

編集委員会は、侃侃講議。

この情報紙は、男女共同参画社会づくり推進懇談会の委員と市の担当職員で構成された「編集委員会」で企画・編集しています。

創刊号はいかがでしたでしょうか。

ご意見・ご感想をお待ちしています。

編集委員一同

発行:我孫子市

発行日:平成13年3月15日 Vol.1

編集:『かがやく』編集委員会

〒270-1192 我孫子市我孫子1858番地

我孫子市環境生活部 男女共同参画担当

TEL.0471-85-1111

この情報紙は再生紙(古紙配合率100%)を使用しています。